

2019年度 第2回札幌市児童会館運営協議会会議記録

日時：2019年11月15日（金）午前10時～11時30分

場所：札幌エルプラザ公共施設 2階 環境研修室1・2

出席：（委員）加藤委員、小野寺委員、佐藤委員、山本委員、五十嵐委員、井崎委員

（札幌市子ども未来局）森子ども育成部放課後児童担当課長、齋藤子ども育成部放課後児童係長
神子ども育成部放課後児童係員

（事務局）山田（こども育成課長）、齊藤（児童会館担当課長）、長谷川（児童会館担当課長）、
笹川（児童会館担当課長）、高坂（児童会館担当課長）、加藤（こども事業課長）、
板村（こども育成課係長）、大水（こども育成課係長）、村田（こども育成課主任指導員）、
大口（札幌市東雁来児童会館館長）、三浦（札幌市柏丘児童会館館長）

1 開 会

こども育成担当部長 井崎 挨拶

2 議 事

会議次第を確認後、報告および説明事項の審議が進められた。

（1）上期利用状況報告について

齊藤（児童会館担当課長）より、2019年度上期の事業について報告を行った。
委員からの質問・意見はなし。

（2）上期事業報告について

大口（札幌市東雁来児童会館館長）より、多世代交流事業について報告を行った。

三浦（札幌市柏丘児童会館館長）より、「サマーチャレンジ！カヌーキャンプ2019」の報告を行った。

加藤（こども事業課長）より、外部連携事業について報告を行った。

長谷川（児童会館担当課長）より、「げんキッズ2020」「クラブ活動」について報告を行った。

委員からは、「サマーチャレンジ！カヌーキャンプ2019」の募集方法、参加人数について質問があった。

（3）児童会館見える化プロジェクトの進捗状況報告について

山田（こども育成課長）より、実態調査結果について報告を行った。

委員からは中学生・高校生への周知方法に関する質問があった。

（4）札幌市より

齋藤子ども育成部放課後児童係長より、児童会館の整備と学習支援の取り組みについて報告を行った。

委員からの質問・意見はなし。

3 意見交換

テーマ「今後の児童会館運営について」

(1) 各委員よりご意見

- ・ 今後子どもの人口が減っていくため、その部分を加味して利用の増減を評価する必要があるのではないか。今後の利用について考える場合、不登校など少数派の子どもたちに対する取り組みについても検討してほしい。子育て中で家に閉じこもっている母親や外国人の方など、マイノリティーの人たちが児童会館を拠点に地域の人たちとつながっていくことはとても大切ではないか。
- ・ 学校との連携について、学校とつながっていることは大事だが、子どもたちが児童会館を学校以外の居場所として、学校とは別の姿を見せているということの意義があると思う。それをどう子どもに伝えていくか、大人が配慮することはとても重要ではないかと思う。連携のメリット、デメリットを洗い出して考えておく必要がある。
- ・ 地域のボランティアの方々には、外国語を話せる方がいらっしゃるので、外国語活動を行う場合は、地域の方にボランティアで参加してもらえる仕組みを考えてみてはどうか。
- ・ 地域のスポーツ大会に参加する子どもを集めるのが大変だったが、児童会館に頼んだところ、児童会館でクラブを作ってくれ、活動をとおして子どもたちの成長を見ることができた。
- ・ 子育てサロンにも外国の方が来るようになった。話すことはできても日本語の案内チラシが読めないという方がいる。外国語で書かれたチラシを作成してもらえたら、より子育てサロンなどに誘いやすくなると思う。
- ・ 外国から視察に来た方などから、子どもが活動している様子を見たいとの要望がある。児童会館での活動というのは、外国にはあまりない取り組みかもしれないので、児童会館を見てもらいたいのではないか。
- ・ 児童会館の目標は、健全な居場所づくりであって、いかにそれを提供できるかということだと思う。対人関係がうまくいかない、経済的な問題で部活や塾に行けない、といった子どもたちの放課後支援が重要になってきており、児童会館がその役割を担っているのだろうと思う。育児で困っている若い母親の居場所や、貧困層の子どもたちに対する学習支援も重要だと思っている。2022年に「ゲーム障害」という定義ができるが、ゲームが悪いわけではなく、依存をどう解消するかが問題であり、放課後や不登校の子どもたちの健全な居場所をどうつくっていくか、児童会館の役割がますます大きくなっていくと思う。

・来年度はオリンピックがあるため、オリンピックに向けて取り組みを行ってはどうか。例えば他の国の人たちを応援するために外国の方にその国のことを教えてもらうなど、今までつながっていなかった人たちとつながることができるのではないか。また、アクセシビリティの問題について、歩きやすさや表示についてなど、考えてみる機会になるのではないかと思う。

・児童会館だけに限らず、主体的に学ぼうとする意識を身につけるといことは非常に大切なことだと思う。学習支援については他からの関心も非常に強く、実態を把握し、これまでの取り組みを整理するなどして、今後広げていくことになると思う。

4 その他報告

テーマ「社会ニーズに即した児童会館のあり方」について

(1) 齊藤（児童会館担当課長）より、8月15日に北東白石児童会館で発生した火災の概略について報告を行った。

委員からの質問・意見はなし。

5 閉 会

こども育成担当部長 五十嵐 挨拶

以上